

授業科目	生活援助技術 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1 単位	講義・演習	30 時間
到達目標	1. 環境調整を助けるために必要な援助技術を理解する。					講師
	2. 活動・休息に必要な援助技術を理解する。 安楽確保の技術、姿勢と体位、体位変換の援助技術を理解する。					専任教員
授業計画						
1 回	環境調整 療養生活の環境・病室の環境のアセスメントと調整					講義
2～ 5 回	ベッド周囲の環境整備 病床を整える ベッドメイキング 臥床患者のシーツ交換					講義・演習 デモンストレーション
6 ～ 10 回	基本的活動の基礎知識 体位 (基本体位・特殊体位) 移動 (体位変換・歩行・移乗・移送) ボデイメカニクスの原理と看護実践への活用					講義・演習
11 ～ 12 回	睡眠・休息の援助 援助の基礎知識、睡眠障害のアセスメント 睡眠への援助					講義
13 ～ 14 回	安楽の確保 安楽の概念 体位保持 (ポジショニング) 援助の基礎知識 安楽な姿勢・体位の保持 安楽を提供するためのケア (マッサージ・痛みの軽減、菴法)					講義・演習
15 回	まとめ					
評価方法	選択肢問題による筆記試験 (70%)、技術試験 (ベッドメイキング) (30%) を総合して評価する。					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院					
備考	教科書・配布資料で予習・復習を行い、演習においては解剖生理を振り返り、必要な技術練習を行い臨むこと					